

市民体育館・市民武道館の卓球台やフェンスなどの更新で安全・快適に健康づくりを



今尾 安徳 議員

市内卓球クラブの方から、市民体育館や市民武道館では古い卓球台が多く、移動や開閉作業の際に台が転倒してけがをされる方もおり、フェンスも穴だらけのものが多いので何とかしてほしいと、市長やレクリエーション卓球協会会長の地元国会議員の方にも要望してきましたので、ぜひ前に進めてほしいという切実なご相談がありました。

私は、今から4年前の平成25年12月議会でも卓球台や備品の更新と安全対策について質問をいたしました。卓球台やフェンスなどの更新について、どのように取り組んでいるのか伺います。

また、定期的に更新して安心・快適に市民が健康づくりに取り組める環境をつくるべきと考えますが、市長の考えを伺います。

○社会教育部長
卓球用フェンスの修繕等に



卓球用フェンス

については、適宜指定管理者において破損等の点検を行い、使用に耐えがたいものについては取り替えや補修を行っています。

今後も指定管理者と協議し、安心安全に利用できるよう、買い替えについても検討していきたいと考えています。

○市長
現状をしっかりと点検し、利用状況を踏まえ、誰もが安心して利用できるよう引き続き努めていきます。

このほか
○あらゆる手段を講じて栄町2丁目地区の冠水ゼロを

豊春駅東口駅前広場に



水沼日出夫 議員

先の9月議会において、地域拠点まちづくり事業に約1億3200万円の補正予算が組まれ、いよいよ豊春駅東口駅前広場の整備に伴う用地買収等に取りかかるというところででしょうか。豊春市民にとっては、ようやく来たかの声とともに、わがまちの玄関口がどのように変わっていくのか、今まで以上に関心が寄せられる大事業となります。

そこで、春バスの乗り入れ等も含めた豊春駅東口駅前広場の整備に係る検討のこれまでの経緯と現状から伺います。併せて、豊春駅東口駅前広場が晴れて完成するまでの事業スケジュールと方向性を伺います。

○都市整備部長
平成27年7月に豊春駅周辺まちづくり検討会を発足させ、地域住民と市が協働し、駅周辺の交通機能強化と誰もが楽しみながら快適に買い物ができる駅前空間の創出を目指し、検討を進めています。現在は平成28年度末にまとめた整備計画を基に、駅前広場用地の現地調査や設計、関係機関との協議並びに関係地権者と交渉を進めており、平成30年度から整備に着手し、平成32年度の完成を目指しています。整備後の駅周辺にぎわうよう、商業施設等の立地誘導や交通結節機能の強化のほか、地域が活性化するイベントなどの検討を進めていきます。

このほか
○豊春駅前通り線の歩道整備について

住宅リフォーム助成制度の早期実現で市内経済活性化を



坂巻 勝則 議員

さ、埼玉県でも36自治体で制度化され、1億8千万円の助成で34億4千万円の総工事となり、18・5倍の経済効果を生み出しました。市内の経済は長引く不況の中で冷え切っており、店舗数は平成14年には2113店舗ありましたが、平成24年には1381店舗と10年間で732店舗、率にして35パーセントも減少してしまいました。議会においては、地域経済の活性化を目指す立場から、平成23年12月定例会に続き、今年9月定例会でも「住宅リフォーム助成制度の早期実現を求める請願」が採択されました。同じ趣旨の請願が二度も採択されたことには大きな意義があります。意義を尊重し、早期実現すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

○市長
豊かな住宅ストックの形成を図ることは、市民が生き生きと暮らす地域の形成のためには重要なことです。国においてもさまざまな住宅政策が図られつつあるので、国の施策の動向を注視していきます。

住宅リフォーム助成制度は、住宅の改修やリフォームに自治体が工事費の一部を補助するものです。リフォームをする市民にも業者にもメリットがあり、多くの自治体が1千万円から2千万円の予算で実施しています。平成27年度では全国603の自治体で実施

このほか
○公共施設整備で豊春地域の活性化を

農業用地の耕作放棄について



蛭間 靖造
議員

近年、調整区域の農地を見渡すと雑草が生い茂る農地を目にすることが増えてきました。全国の農村部においても、農業従事者の高齢化や、農家を継いでくれる後継者がいないため耕作できないとよく耳にします。耕作放棄された農地は害虫の発生や鳥獣のすみかになり、農作物や家畜等に被害を及ぼすことが懸念され、草の種の飛散や枯れて火災等の被害も想定されます。そこで以下について伺います。

①耕作放棄された農地の広さと要因
②耕作放棄農地の推移
③耕作放棄農地の解消方法
④解消された農地の数
⑤改正法は従来の文書指導から何が変わるのか

○農業委員会事務局長

①平成28年度の遊休農地面積は16・76ヘクタールで、農業従事者の高齢化や担い手および後継者不足が主な要因と認識しています。②過去3年

間の推移は、平成26年度10・39ヘクタール、27年度15・41ヘクタール、28年度16・76ヘクタールと増えています。③権利を有する者に対し、農地の適正な管理を行うよう、文書による指導を実施しています。④毎年4〜5ヘクタール解消されています。⑤農地等の最適化の推進が必須業務となり、新たに農地利用最適化推進委員の設置が明示されたところでは、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入の促進です。

春日部市商工振興センター跡地活用について



武彦 卯月
議員

商工振興センター跡地に東口の活性化につながる施設を検討するとしていますが、建設が長く先送りされる心配があります。いつごろまでに検討し、建設するのでしょうか。跡地の45パーセントをハローワークと労働基準監督署用地として国に売却予定ですが、

駐車場はどちらの土地に造るのでしようか。市の施設は、例えば子ども図書館、児童館、貸室、農産物直売所を備えたスーパー誘致など、複合的な施設とすべきだと思えますがいかがでしょうか。また、そのためには広い面積が必要であり、売却は白紙に戻すべきではないでしょうか。

○環境経済部長

市の施設の建設については、皆さまの意見を考慮しながら検討を進めていきたいと考えており、スケジュールは現段階では未定です。駐車場は市の所有部分に市が整備し、国の施設と一体的な利用を考えています。施設については、さまざまな意見を踏まえ、地域全体にとって有意義な施設となるよう検討していきます。

○市長

跡地活用については、春日部商工会議所会頭、副会頭からも、公共施設の誘致についてご理解をいただいています。また、高層階の施設が建設できる敷地であるため、中心市街地活性化につながる施設を建設したいと考えています。

このほか

○子どもから高齢者まで利用できる温水プールの建設を

高齢者が安心して住み続け、若者が住みたくなる武里団地再生を



並木 敏恵
議員

第2次総合振興計画に「武里団地のリノベーションの促進」が位置付けられました。

武里団地は入居開始から既に51年。建物の老朽化、居住者の高齢化に加え、URが「戸数削減」団地に指定したことで人口減少と少子高齢化が深刻です。「武里団地のリノベーションの促進」にあたってはUR任せにせず、市としての再生方針を持つてURと連携して取り組むことが必要です。

高齢者が安心して住み続けられるよう、エレベーターの設置、室内バリアフリー化、1階への住み替えに転居費用を補助することなどが必要ではないでしょうか。また、若い世代の入居を促進するには、築50年を超える住宅ですから、若者向けの内装改修戸数を増やし、民間マンションより安く入居できるように、定住希望者に家賃を補助するなどを

うべきと思いますが、市の考えを伺います。

○総合政策部長

エレベーターの設置は、団地の構造上難しい状況です。床の段差解消や手すりの設置、35歳以下の家賃割引制度などをURが実施し、市は大学生に家賃や交通費の一部を助成する事業を行っています。

○市長

あらゆる世代が住みやすい団地を目指して、引き続きURと連携していきます。

このほか

○子どもの遊びと生活を保障する放課後児童クラブ



武里団地

**石川市長の選挙公約の中から
武里団地の再開発、北春日部
駅西側の開発について**



海老原光男
議員

石川市長におかれましては、「5つの未来への投資・人口1万人増計画」を選挙公約に掲げ、4期目の当選を果たされました。計画の3番目に、武里団地の再開発、北春日部駅西側の開発・新たな人口を呼び込む魅力ある街を創造することあります。まず、武里団地については、UR都市機構、住民、地域の方等との今後の協議が重要であり、北春日部については、農業振興地域・農用地区域の除外の問題や湛水区域の問題等があり、県、土地区画整理準備会等との協議が重要となります。以上のことを踏まえ、人口1万人増計画を達成するための考え方を市長に伺います。

○市長
武里団地の再生を行い、多様な世代から選ばれる活気あるまちをつくることともに、北春日部駅周辺地区の土地区画整理事業を実施し、子育て世

**交通不便地域に
「デマンド交通」を導入し
住民の交通権の保障を**



大野とし子
議員

代から選ばれるゆとりあるまちを創出します。また、鉄道高架事業とあわせて中心市街地の活性化や再開発、東埼玉道路周辺や庄和インター周辺の企業誘致により職を生み出し、職と住居が近接した魅力あるまちをつくり出します。さらに、公立保育所の施設整備や、子育て世帯への経済的な負担軽減策で若い層の転入を促進し、人の流れや人口バランスのよい活気ある地域をつくり出し人口増を図ります。

このほか
○市外での大規模災害発生時の当市の対応について



北春日部駅西側

第3次春バス運行が始まってから、住民からは「本数が少なく通院にも買い物にも使えない」、高齢者からも「バス停が遠くて利用できない」「自転車に乗れなくなったらどこへも行けない」などの声があります。2013年に交通政策基本法ができ、「日常生活等に必要不可欠な交通手段の確保等」がうたわれました。今後どの地域でも交通弱者が増加していきます。交通弱者が自由に移動できる「交通権」を保障することは、地方公共団体の仕事です。広大な交通不便地域においては、路線が決まっている春バスよりも必要な時に必要な人が予約して利用でき、家または家の近くまで送迎してくれるデマンド交通が適していて、多くの自治体で導入が進んでいます。市民の交通権を保障するために、交通不便地域にデマンド交通導入をと考えます

が、市の考えを伺います。

○都市整備部長

デマンド交通の導入は、路線バスやタクシーの撤退など公共交通に大きな影響を及ぼすため、それぞれの役割に基づき、各交通事業者と連携を図り、持続可能な公共交通網を構築していきます。

○市長

今後幅広く意見を伺い公共交通が高齢者の生活の一助となるよう対応していきます。

このほか

○高齢者が自分らしく暮らすことができる「第7期介護保険事業計画」に

**市長選挙公約の中から
かすかべ特別奨学金の
創設について**



吉田 剛
議員

平成29年10月22日の春日部市長選挙において、石川市長は5つの未来への投資を軸として人口1万人増宣言を公約として掲げております。その中から「(仮)春日部発↓未来行き かすかべ特別奨学金」の創設について伺います。本特別奨学金について、具

体的にはどのような児童生徒を対象とした奨学金であるのか。また、給付なのか、貸与なのか、さらには、1人当たりにはどの程度の奨学金を交付するのか伺います。さらに、平成何年度の創設に向けて実現していくのか、石川市長の考えをお聞かせください。

○市長

夢や希望を抱いて自己実現を目指す子供たちを地域全体で応援し、支え合いながら、子供たちの将来の可能性を広げていくことで、春日部の将来を担う人材を育成したいと考えています。春日部の子供たちの輝かしい将来のために投資を行うことにより、子供たちにとって創造的な未来を切り開くための契機となるような春日部市独自の特別奨学金制度を創設していきたいと思っております。そのために何が求められているのか、実際に何が必要なのか、把握することが肝要です。まずは、丁寧な市民ニーズの把握に努めます。そして、速やかな実現に向けて、誠意を持って努力してまいります。

このほか

○起業家教育について

石川市長の選挙公約の中から



栄 寛美 議員

「(仮) 科学技術学習児童館」の創設について、

①今までの議会答弁では、児童館の新設は考えていないとのことであったが、どのような経緯で創設の考えに至ったのか伺います。

②本市になぜ科学技術が必要であり、学習向上を目的に建設とありますが、どのような考えで学力の向上につながるのか伺います。

○市長

①将来の春日部を担う子どもたちに、さまざまな経験をしながら夢を持つて大きく成長してもらうことを願っています。そのためには新たな視点を取り入れ、子どもたちが自然環境や科学技術等に興味を持ち、創造性豊かに、自ら考える力を養うことのできる場が必要と考えます。この新たな学びの場創設に当たっては、既存施設での運営や民間活力の採用など、さまざまな

発想、可能性を模索しながら実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。

②子どもたちが自然環境や科学技術等に触れる授業を通じて、結果にたどり着くプロセスを学ぶ事で、思考力や判断力が身につくと考えます。さまざまな体験を通じて、なぜだろう、どうしてなのだろうと疑問を持ち、分からなかった事がわかるようになる、そうした体験を通して学ぶことを楽しいと感じるものと考えます。自ら学ぶ意欲を持つことが、さらなる学力の向上につながるものと考えます。

旧沼端小学校跡地について



中川 朗 議員

旧沼端小学校は廃校後、市民の皆さまに広く利用され、スポーツを通じた青少年の健全育成や、芸術活動などを通じたコミュニティの形成の場となっていました。しかし、建物や設備の老朽化などにより、暫定利用を終え、学校跡地の活用としての売り払いを

進めてきました。そして、売り払い契約を締結した事業者は首都圏外郭放水路の計画・設計にも携わった企業で、このような素晴らしい企業に研究センターを設置していただいたわけですから、今後地元への貢献をいただけるよう、働きかけてはどうかと考えますが、市の考えを伺います。

○総務部長

遊歩道整備や広場の開放を行うと聞いています。また、水害時の対応に関するワークショップの開催や地元小中学校の見学受け入れ等も検討いただいています。学校跡地のグラウンド部分は河川のミニチュア模型を作り、水害シミュレーションなどを行う実験場になるとのこと、防災などについて学べる絶好の機会になると考えて交渉しています。さらに今後は防災、学校教育などのほか、他の分野にわたっても協力関係を築くことができるよう、包括協定などの手法も視野に入れて働きかけていきます。

このほか

○禁煙による健康増進について

○インフラ施設の維持管理について

東京オリ・パラに向け、事前キャンプ地誘致を



古沢 耕作 議員

待機児童対策、自然エネルギーの推進と並び、私がかつまで一生懸命に取り組んできましたが、本市のスポーツ行政に関連して伺います。

①2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、本市が世界に向けて、事前キャンプ地として立候補する考えがあるか伺うとともに、そのための施設整備を行うことを要望します。ちなみに、近隣の越谷市などは、既に大会組織委員会に、申請・登録を行っています。

②今回、パラリンピックにも注目して頂きたい、という思いで、オリ・パラと表現しています。関係者の間でも、今大会を障がい者スポーツの認知に繋げたい、という期待が大きいです。私が体験した卓球バレー等、障がい者スポーツのイベントを行ったり、パラリンピック選手を招いて盛り上げる考えはありますか。

○総合政策部長

①練習施設のほか宿泊施設に係る必須条件、基準もあることから、現状では事前キャンプを誘致するには、多くの課題があると考えています。

②スポーツ教室やイベント等において気軽に楽しめるスポーツの発掘、普及に努めていきたいと考えています。また、パラリンピアンを招致したイベントや事業につきましても、機会を捉えて積極的に実施したいと考えています。

このほか

○石川市長の選挙公約の中から



東京オリ・パラ開催のほり旗

**サテライトオフィス・
テレワーク事業者の
誘致促進等について**



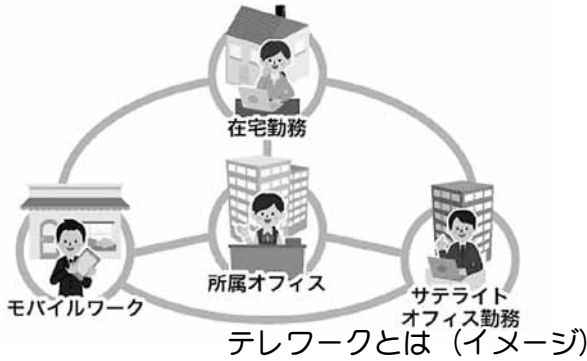
木村 圭一 議員

総務省では、Ｉターン・Ｕターンなどを含め、地方への人や仕事の流れを創出することや、時間・場所にとらわれない柔軟な働き方や、ワークライフバランス向上、また、地域活性化に寄与するため「ふるさとテレワーク推進事業」に係る提案公募を昨年行ったようです。こうした取り組みは、働き方改革の一つの考えや、地域活性の創出につながられないかと考えるとこ

ろです。そこで、こうした取り組みについて民間企業へ情報発信し、本市の空き店舗、空き家等を活用しながらサテライトオフィスやテレワークセンター拠点の誘致を推進することができないものか伺います。

○環境経済部長

総務省で、テレワーク推進事業としてふるさとテレワーク推進事業の補助事業をはじめ、平成28年度よりサテライ



トオフィスの誘致を支援するお試しサテライトオフィスの取り組みを始めたところです。都市部から地方への人や仕事の流れを創出することが背景にあるため、首都圏整備法に基づく近郊整備地帯に当たる本市は、補助の対象地域となっていない。そのため、本市の空き店舗等の対策については、サテライトオフィスやテレワーク拠点も含め、幅広く検討していく必要があるものと捉えています。

このほか

○避難所について

○浸水軽減対策について

傍聴して一言

子供の給食についての取り組みに関して、真剣に考えていると思いました。ニュース等で聞いていると、いろいろな物が入っていたりしているので不安でした。

男性・63歳

子供をよりよく育てる活動をあらゆる面から考えなければいけないと知りました。

学校に行く機会もないが、子供が少ないのに問題が多くなっている気がします。

女性・68歳

議会だよりはあまり読まないで、議会を傍聴すること

で市の運営などがわかって良かった。市民のために役に立つとうとする議員の質問されて

いる姿も見ることができると

で議会に足を運びたいと思う。

女性・66歳

地方創生について、大まかだが直接聞くことができよ

かった。新庁舎建設について

危ないものが基準値以上出た

とのことだが、井戸の使用は

ないということで一安心か。

市の歌のカラオケ配信について、多くに知らしめることは有効と思う。自然エネルギーの活用について、グリーン庁舎の考えでいくとのこと、素晴らしい考えだと思います。

男性・69歳

政治と経済は結びついてい

ると思う。議員は良い意味で

の権力者なので、政治に対する

取り組み次第で経済も動いて

くると思う。春日部市議団の

取り組みは強い姿勢で引張

ってもらいたい。そうすれば

経済も発展するはず。第一に

市民に優しい行政を行って

もらいたい。弱い立場の人の

最大最強の味方になってほしい。

かなり頑張ってもらっている

ので感謝しています。

男性・74歳

市長選後初の議会、全日程を聞ければ良かったのですが

本日の午前のみ傍聴しました。

石川市長、いつもパワフルで

行動力もあり、話も上手で市民

と共にいる方だと思えます。

女性・45歳

※割愛させていただいた部分

もあります。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
11/27	3	上程・説明
12/1	3	質 疑
29	3	委員会
5	23	一般質問
6	39	一般質問
8	10	一般質問
12	15	一般質問
13	29	一般質問
15	6	討論・採決
合計	131	

お知らせ

○議員の失職
平成29年10月15日付で、岩谷一弘議員は、選挙立候補届出により失職となりました。

**次の定例会は
2月19日(月)
開会予定です**

議会報告会を 開催しました

市議会では平成24年度から議会報告会を毎年開催しています。

今回は10月28日(土)にふれあいキューブ4階市民活動センターにおいて開催し、前半は9月定例会の決算議案を中心に報告を行い、後半は4グループに分かれて皆さまからご意見などを伺う意見広聴会を行いました。

お忙しい中、ご来場いただきました皆さまには、貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。いただいたご意見等につきましては、ホームページで公表していきます。



グループに分かれて行った意見広聴会

寄附禁止のルール

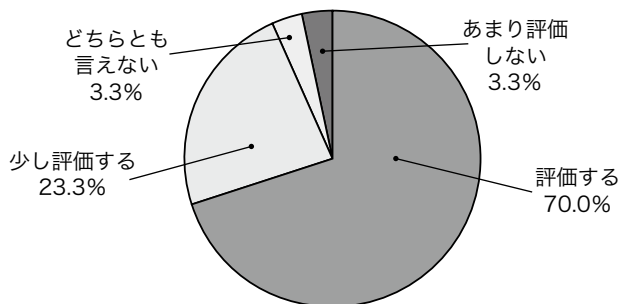
- 政治家の寄附は禁止!
- 有権者が政治家に寄附を求めることも禁止!

例えば、こんなことは禁止されています

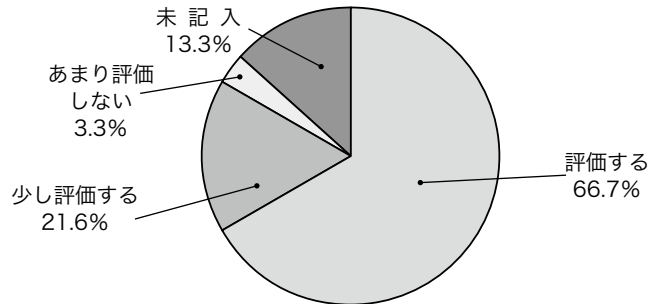
- お歳暮やお年賀など
- 会費制でない会合での支払い
- お祭りの際などに寄附や差し入れを求めること
- 町内会の集会や旅行会などの催物への寸志や飲食物の提供
- 入学祝・卒業祝
- 病氣見舞い
- 落成式・開店祝いや葬式の花輪・供花
- 結婚祝、香典(政治家本人が出席しない場合は罰則の対象)

議会報告会アンケート集計結果

議会報告会を開催したことへの評価



意見広聴会を開催したことへの評価



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

11月22日
平成29年12月定例会の運営について

11月27日
「提案説明者及び付託委員会予定表」の訂正について

▽議会改革検討特別委員会
11月22日
議員定数について

▽広報広聴委員会

12月21日
議会だより第50号について

議会報告会の検証について

視察結果報告書について
1月4日

議会だより第50号について
今後の議会報告会について
視察結果報告書について

政務活動費 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。この、政務活動費の収支報告一覧については、市議会ホームページで公開しています。また、議会事務局のほか、市役所本庁舎および庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

編集後記

新しい年を迎え、ひと月が経ちました。まだまだ厳しい寒さが続きますので、皆さま健康にはくれぐれも留意ください。

12月定例会では、第2次春日部市総合振興計画基本構想をはじめ、多くの議案について審議が行われました。春日部市の今後の発展を見据え、議員一同、充実した施策が展開されるよう、全力で取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 矢島 章好 |
| 副委員長 | 石川 友和 |
| 委員 | 水沼日出夫 |
| 委員 | 斉藤 義則 |
| 委員 | 大野とし子 |
| 委員 | 古沢 耕作 |
| 委員 | 木村 圭一 |
| 委員 | 蛭間 靖造 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 滝澤 英明 |
| 副議長 | 武 幹也 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116

再生紙を使用しています。